



平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 M-メタップス

コード番号 6172 URL <http://corp.metaps.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 航陽

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山崎 祐一郎

TEL 03-5325-6280

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第1四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	1,287	—	△145	—	△145	—	△172	—
27年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年8月期第1四半期 △162百万円 (—%) 27年8月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第1四半期	△14.02	—
27年8月期第1四半期	—	—

(注) 平成27年8月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第1四半期	11,613	8,028	67.3
27年8月期	9,295	8,020	86.0

(参考) 自己資本 28年8月期第1四半期 7,817百万円 27年8月期 7,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年8月期	—	—	—	—	—

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	
	百万円	%
通期	9,000	118.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

このほかに、当社は、平成28年8月期の業績予想として、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の黒字化を掲げています。詳細は、添付資料P.2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Nextapps Inc.、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年8月期1Q	12,332,310 株	27年8月期	12,332,310 株
② 期末自己株式数	28年8月期1Q	— 株	27年8月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年8月期1Q	12,332,310 株	27年8月期1Q	— 株

(注)平成27年8月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済・金融政策の効果による企業業績の堅調な推移を背景に、雇用環境には引き続き回復の兆しがみられるものの、個人所得の伸び悩みにより個人消費は力強さを欠く状況にあります。また、企業の設備投資は緩やかながら回復基調を維持しているものの、米国での利上げ局面入りや、中国・新興国経済の減速懸念もあり、経済環境は依然として不透明な状況が続いています。当社グループの属するインターネット領域におきましては、スマートフォン市場が継続的に拡大を続けており、平成27年3月末のスマートフォン普及率は60.6%と過半数を超えるまでに拡大しています(内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査(平成27年3月実施調査結果)」)。同様に、スマートフォンの普及によりアプリ利用も継続して拡大しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間においては、主力のアプリ収益化事業は、グローバルでの売上が継続して好調であり、注力サービスであるアプリ収益化プラットフォーム“metaps”などの既存サービスが堅調に推移した一方で、決済プラットフォーム“SPIKE”をはじめとする新規サービス開発のための先行投資を積極的に実施したことにより引き続き営業損失を計上しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績における売上高は1,287,476千円、営業損失は145,554千円、経常損失は145,224千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は172,940千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が7,638,457千円、売掛金が991,345千円、無形固定資産が2,483,004千円となり、合計11,613,113千円となりました。これは、Nextapps Inc.が当社の連結の範囲に含まれたことによりのれんが2,043,892千円増加したことが主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、買掛金が692,127千円、1年内返済予定の長期借入金730,000千円、長期借入金1,470,000千円となり、合計3,584,949千円となりました。これは、Nextapps Inc.株式取得に係る支払資金の調達方法として、1年内返済予定の長期借入金730,000千円、長期借入金1,470,000千円が増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上172,940千円等により、合計8,028,164千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月14日の「平成27年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、Nextapps Inc.の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。しかしながら、当第1四半期連結会計期間末において現金及び預金7,638百万円を保有し、必要な運転資金を確保していることから、以下に記載の諸施策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

① 海外市場への対応

アプリ収益化事業の発展には、継続してグローバル展開を進めることが不可欠であり、海外での事業拡大を加速化するために、既に収益化が順調に進んでいる中華圏及び東南アジア地域における事業展開の強化と、欧州地域における体制強化を行ってまいります。事業展開の強化の一環として、日本流の押しつけでなく、それぞれの地域に応じたプロモーションロジックの構築と、現地責任者・スタッフのローカル採用強化を継続して行なってまいります。同時に、日本やシンガポールなど、先行して事業展開を行っている地域が培ったオペレーションノウハウをグローバルで共有し、「効率化」・「標準化」・「スピード化」を意識し取り組んでまいります。

② 開発スピード強化への対応

既存プロダクトのシステム稼働は安定していますが、インターネット領域における目まぐるしい変化スピードに対応していくためには、常に新しいプロダクトを創造し続ける必要があります。また、グローバルでユーザを獲得するためには今まで以上にプロダクトに高い質と信頼が求められます。そのため、多言語化に対応できるシステム開発や仕様作成を進める一方で、情報漏えい、情報セキュリティ面でのリスク対応強化についても並行して進められるよう、引き続き優秀な技術者の確保、職場環境の改善に努めてまいります。

③ 組織体制の整備

当社グループは成長段階にあり、業務運営の効率化やリスク管理のための内部管理体制の強化が重要な課題であると考えております。このため、バックオフィス業務の整備を推進し、経営の公正性・透明性を確保するための内部管理体制強化に取り組んでまいります。具体的には、業務運営上のリスクを把握してリスク管理を適切に運用すること、定期的な内部監査の実施によるコンプライアンス体制の強化、監査役監査の実施によるコーポレート・ガバナンス機能の充実などを行っていく方針であります。

④ 経営体制の強化対応

インターネット業界においては、事業に関連する技術革新のスピードや顧客ニーズの変化が速く、それに基づく新サービスが常に生み出されております。これらの最新のニーズを的確に察知し、迅速な意思決定を行える体制を整えることで、常に市場をリードしていくことが当社の成長につながります。これを実現するために、各国ユーザのニーズを的確に察知できるグローバルな人材の確保を行える体制を構築してまいります。

⑤ 新規事業の展開について

当社グループの展開するアプリ収益化事業の属するインターネット業界は、急速な進化、拡大を続けており、事業に関連する技術革新のスピードや顧客ニーズの変化が速いため、当社グループにおいても顧客のニーズを満たす新サービスの展開を常に検討しております。このような環境下において、当社グループでは、オンライン決済プラットフォーム“SPIKE”において利用可能な資金決済法に基づく電子コインの発行などの新たなサービス展開を随時開始しており、今後も、Metaps Analyticsをウェアラブルやロボットなどの様々なデバイスに対応させるなど、データを競争力として積極的な事業展開を進めていく方針であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,783,420	7,638,457
売掛金	719,906	991,345
その他	258,903	257,136
流動資産合計	8,762,230	8,886,940
固定資産		
有形固定資産	41,167	45,642
無形固定資産		
のれん	-	2,043,892
その他	403,291	439,111
無形固定資産合計	403,291	2,483,004
投資その他の資産	56,284	169,361
固定資産合計	500,743	2,698,008
繰延資産	32,059	28,164
資産合計	9,295,033	11,613,113
負債の部		
流動負債		
買掛金	660,172	692,127
1年内返済予定の長期借入金	-	730,000
その他	603,375	609,078
流動負債合計	1,263,547	2,031,206
固定負債		
長期借入金	-	1,470,000
退職給付に係る負債	2,831	12,638
その他	8,113	71,104
固定負債合計	10,945	1,553,742
負債合計	1,274,493	3,584,949

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,628,469	4,628,469
資本剰余金	4,617,471	4,617,471
利益剰余金	△1,260,352	△1,433,293
株主資本合計	7,985,588	7,812,647
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,774	5,179
その他の包括利益累計額合計	6,774	5,179
新株予約権	-	66,036
非支配株主持分	28,176	144,301
純資産合計	8,020,540	8,028,164
負債純資産合計	9,295,033	11,613,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
売上高	1,287,476
売上原価	1,109,286
売上総利益	178,189
販売費及び一般管理費	323,744
営業損失(△)	△145,554
営業外収益	
為替差益	4,341
補助金収入	1,474
その他	884
営業外収益合計	6,700
営業外費用	
支払利息	2,081
株式交付費償却	3,895
その他	394
営業外費用合計	6,370
経常損失(△)	△145,224
特別損失	
買収関連費用	4,653
特別損失合計	4,653
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,877
法人税、住民税及び事業税	11,813
法人税等調整額	△1,080
四半期純損失(△)	△160,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,330
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△172,940

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
四半期純損失(△)	△160,610
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△1,595
その他の包括利益合計	△1,595
四半期包括利益	△162,205
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△174,535
非支配株主に係る四半期包括利益	12,330

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成27年11月30日)

当社グループは、アプリ収益化事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。